

検定付き電子天びん GX-A-K および GX-M-K と マルチプリンタ AD-8127 と接続する際の設定について

検定付き電子天びん GX-A-K および GX-M-K シリーズとマルチプリンタ AD-8127 を接続する際は**プリンタ AD-8127 の印字モード**を変更して下さい

ポイント： 出荷時は「外部キー印字モード」になっているので、それを「**ダンプ印字モード**」に変更

プリンタ側を「**ダンプ印字モード(DUMP)**」へ設定変更をする方法

プリンタ AD-8127 の電源 ON すると、液晶表示部に現在の印字モードが表示されます

工場出荷時設定では「EXT.KEY READY」と表示されます
テンキーの[3]キーを押すと、印字モード設定に入ります

「PRN MODE EXT.KEY」を[6]または[9]キーにて「**PRN MODE DUMP**」を表示し、
[ENT]キーを押してください → 「**DUMP READY**」と表示されたら設定完了です

【注意点】

「ダンプ印字モード」にしている場合は、AD-8127にて日付・時刻の付加をすることができません

日付・時刻を印字させる場合は、GX-A-K、GX-M-K の内部設定にて、日付・時刻の付加の設定を行ってください

検定付きの GX-A-K および GX-M-K シリーズとプリンタのフォーマットの違い

天びんの[PRINT]キーによる出力またはオートプリントによる出力にて、1桁目が [] で表示されます（計量法に則って、補助表示の桁は [] の中に印字されます）

例：GX-203A-K(目量 0.01g / 補助表示 0.001g)の場合、計量値が 23.456g の場合 WT 23.45[6]g と出力されます

これに対してプリンタ側が 出荷時設定のままの「外部キー印字モード」の状態だった場合、下記のとおり印字されてしまい、正しい印字ができません

① g 等の単位が印字されない

例) 補助表示あり 23.45[6]g の場合は、“ 23.45[6] ”と単位なしにて印字される
補助表示なし 23.45g の場合は、“ 23.45 ”と単位なしにて印字される

② 天びんの表示がゼロの場合、プリントキー（オートプリント）を押しても印字されない

例) 0. [0] g、0.0[0]g、0g、0.0g、0.00g などゼロ表示の時には補助表示の有り無しにかかわらずプリントキーを押しても印字しない
※ 天びんのプリントキーを押しても印字しません